TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo University of Marine Science and Technology (東京海洋大学)

楽水誌掲載主要文献リスト（戦前篇）作成にあたって

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岩澤, 龍彦 メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/548

楽水誌掲載主要文献リスト（戦前篇）作成にあたって

岩澤龍彦（13増大）

今回の「楽水誌掲載主要文献リスト（戦前篇）」には,「楽水会誌（通巻番号300〜341）1932年１月号〜1935年６月号」と「楽水（通巻番号342〜445）1935年７月号〜1944年２月号」に掲載された主要文献を収録した。

同窓会誌『楽水』誕生のルーツを述べるにあたっては,『水産研究誌』と『楽水会誌』について説明する必要がある。

①『水産研究誌』

明治40（1907）年，水産講習所養殖部の同窓によって水産研究会が組織されて,『水産研究誌』を刊行（創刊は明治39年）した。

『水産研究誌』はその後，昭和６（1931）年まで26年間に26巻，通刊約300号が発行された。

②『楽水会誌』

大正10（1921）年に農商務省の設立許可を受けて「社団法人楽水会」が発足した（それまでは「水産同窓会」と称していた）。

このこともあり,『水産研究誌』を昭和７（1932）年１月号から『楽水会誌』という名称に改題した。これを機会に第27巻300号と巻号と通巻番号を付している。

『水産研究誌』はその名のとおり学術雑誌的な性格が強い同窓会誌であったが,『楽水会誌』は学術雑誌的特徴はそのまま尊重してさらに水産を中心とした政治，経済，産業等の話題に触れ，かつ文芸や会員の消息，母校の近況等幅広く会員に関心のある記事を掲載することとなった。

③『楽水』

昭和４（1929）年に水産講習所は試験部および海洋調査部を新設された農林省水産試験場へ移管する等，水産に関する試験研究は分化発展を遂

“新鮮・うまい”を世界から……
食のコーディネートから冷凍・冷蔵管理、デリバリーまで
全ての食材をトータルにお届けします。

美味しい笑顔のそばに、いつもベニレイ

株式会社 ベニレイ

本社／〒108-0023　東京都港区芝浦４丁目９番25号
TEL.03-3769-0031　FAX.03-3769-0041

水辺の街から
世界に発信

運河に囲まれた天王洲アイルには
劇場・飲食店・店舗・ホテル・オフィスが集積し
都心・羽田・お台場の結節点となっています。

天王洲総合開発協議会

TENNOZ ISLE

〒140-0002
品川区東品川２丁目２番４号
天王洲ファーストタワー15階
TEL　03-5462-8811

げ，昭和７年には日本水産学会が設立され，学会本部が水産講習所内に置かれる等，水産研究が盛んになってきたこともあり，楽水会の会誌の性格について議論がされてきた。

その結果，昭和10（1935）年に通巻342号から『楽水』に『楽水会誌』を改題するとともに，学術論文等は別途附録として『水産研究誌』を併せ刊行することになった。

『楽水』342号からは体裁もA5版に小型化し，カテゴリーの分類もやめていた。太平洋戦争の戦局が激しくなり，人材および物資の貧窮化に伴い『楽水』の刊行は困難となっていたが，東京が敵機の爆撃にさらされるようになったため，昭和19（1944）年２月発行の第39巻２月号をもって休刊とした。

この休刊は，昭和24（1949）年７月（昭和24年５月に東京水産大学が新設される）までの約５年間に及んだ。

昭和7年の6月号に編集委員をしていた藤田 正氏（29養）が『水産研究誌』から『楽水会誌』へ改題された新体制としての刊行半年での感想を寄稿しており，「楽水会誌は水産講習所の同窓会誌としてではなく，水産啓発，普及を大きな目標としている」というような趣旨を書いておられるが，当時の楽水会誌に対する考え方を知るうえで興味深い。

『楽水』は『水産研究誌』の頃から会員への配布に加えて，一般向けに有料頒布していた。それは，巻末に頒布価格が表示されていることや，戦前の水産関係教科書に広告が印刷されていたことや，丸善で販売されていたことからもわかる。

ちなみに，大正７（1918）年12月発行の『水産研究誌』の巻末には１カ月分１冊金20銭，１カ年12冊金２円40銭となっており，昭和28年10月発行の「楽水」585号の巻末には１カ年分（不定期）金700円となっている。

参考文献

岩澤龍彦（2012）「楽水」106年838号の歩み．楽水838号，楽水会

岩澤龍彦（2014）楽水誌掲載主要文献リスト（戦後篇）作成にあたって．楽水846号，楽水会

藤田　正（1932）本誌の存在意義と今後の方針に就いて．楽水会誌28巻６号（通巻305），楽水会

マルちゃん

Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

“食を通じ、みなさまに笑顔をお届けしたい”

私たち東洋水産グループは、その想いをマルちゃんマークに込め、

品質とおいしさにこだわった食品づくりに取り組んでまいりました。

自然に笑顔がこぼれるようなおいしさを、食卓へ。

いつまでも変わらず、安心な製品を、世の中へ。

“すべては、笑顔のために。”私たちはこれからも取り組んでまいります。

TOYO SUISAN 東洋水産株式会社

〒108-8501 東京都港区港南2-13-40 電話03(3458)5111

楽水誌掲載主要文献リスト（戦前篇）
目次一覧
（№ 300 ～ 445）

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
445	1944.02.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			鶴田　三郎	32漁	ニューギニア紀行（其の三）
444	1944.01.		高橋　熊吉		年頭の辞
			杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			木下　佳山		決戦の新年を迎へて
			酒井　呑水		増強
443	1943.12.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			鯉　子		郷土の伝説（十一）
			海野　正二	32養	漁業増産報国手帳に就いて
442	1943.11.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			鯉　子		郷土の伝説（十）
			浩洋生		南進一路（六）
			鶴田　三郎	32漁	ニューギニア紀行（其の三）
441	1943.10.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			鯉　子		郷土の伝説（九）
440	1943.09.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			宮崎　賢一		戦場観月・戦時観月
			鶴田　三郎	32漁	ニューギニア紀行（一）
			鯉　子		郷土の伝説（八）
			五十嵐　徹夫	32養	水産技術報国会に望む
439	1943.08.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			鯉　子		郷土の伝説（七）
			松尾　博		水産試験機構大改革実施の急務
			石島　渉	30養	台湾と満州（其一）
			安川　隆		南方より
			宣保　友厚		ビタミン事業統制に就きての所見
438	1943.07.		ひでかづ		水産管見
			鯉　子		郷土の伝説（六）
437	1943.06.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			鯉　子		郷土の伝説（五）
			浩洋生		南進一路（五）
436	1943.05.		杉浦　保吉	9 漁	皇太子殿下の行啓を仰ぎ奉りて
			鯉　子		郷土の伝説（四）
			高槻　俊一	25養	カキの中毒
			宝来　利一	24製専	すがもの開繊綿状化
			浩洋生		南進一路（四）
			有坂　利一	13製	プロプラン月島行
435	1943.04.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			山村　夏彦		北鮮の思ひ出
			鯉　子		郷土の伝説（三）
			呑　水		増強
			山水生		娘子関
			和田　少尉		桃太郎の米英鬼退治
434	1943.03.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			鯉　子		郷土の伝説
			川名　武	26養	須らく水産大学に昇格せしめよ―松尾氏の海洋研究所附設を読みて―
			浩洋生		南進一路（三）
			安川　隆		南方より
433	1943.02.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			野口　貞美		南海に於ける黄肌鮪の一本釣漁業
			鯉　子		郷土の伝説
			浩洋生		南進一路（二）
			林　茂樹	31養	日本の美しさ
432	1943.01.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
432	1943.01.		高橋会長	7伝	年頭之辞
			浩洋生		南進一路（一）
			城山　正三	27漁	白頭山に探究登行を実施して（三）
431	1942.12.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			入澤　武夫	40養	最近の上海ニュース
			中村　秀也	33養	魚族との生活
			入澤　武夫	40養	上海夜話（一）
			松尾　博		水産講習所に海洋研究所附設の急務
			城山　正三	27漁	白頭山に探究登行を実施して（二）
			野村　康雄		楽水共済会設立の提唱
430	1942.11.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			海野　正二	32養	鹿児島県よりの南方出漁状況（二）
			城山　正三	27漁	白頭山に探究登行を実施して（一）
			阿部　睦雄		緬甸より
429	1942.10.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			海野　正二	32養	鹿児島県よりの南方出漁状況（一）
428	1942.09.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			入澤　武夫	40養	支那水産随想
427	1942.08.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			五十男		船頭多而船上山
			城山　正三	27漁	山に寄す（二）
426	1942.07.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			城山　正三	27漁	山に寄す（一）
			外岡　元雄		我等の学園を論ずるに附言す
425	1942.06.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
424	1942.05.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			呑　水		偶感
			岡島生		南洋群島に足跡を印された楽水会の人々
423	1942.04.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			鶴田　三朗	32漁	我等の学園を論ず
422	1942.03.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			入澤　武夫	40養	上海雑記
			入澤　武夫	40養	上海に鮮魚配給組合設立さる
					内外水産時報
421	1942.02.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			入澤　武夫	40養	内外水産時報
420	1942.01.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			酒井　呑水		時局と水及び網
			竹本　一二三		食堂雑感
			中川生		地方漁村状況の一，二
			高橋　熊三	7伝	年頭の辞
419	1941.12.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			渡辺　一	31養	伊豆地方に於ける石花菓漁業に就いて（二）
418	1941.11.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			渡辺　一	31養	伊豆地方に於ける石花菓漁業に就いて（一）
			猿谷　万九	28製	北海道旅行記
			海野　山彦		水に縁の無い話
417	1941.10.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			MS生		落網揚網法の改良による動力節約に就いて
			長浜　聞濤		戦場雑感（其の二）
					釜山に神鷹丸を迎へて
416	1941.09.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			酒井　呑水		寿命と若返
					白鷹丸を基隆に迎ふ
			中川生		地方の漁業状況の一，二（金曜会記事）
					釜山の神鷹丸を迎へて
415	1941.08.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			林　茂樹	31養	中国の民謡
414	1941.07.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
					白鷹丸を迎へて
			鷹司　信敬	20養	水族館の一考察（二）

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
413	1941.06.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			黒沼　勝造	33養	「地方深海漁場の開発調査」と題する春日中央水産試験場長の論説に寄す
			鷹司　信敬	20養	水族館の一考察（一）
412	1941.05.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
411	1941.04.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
410	1941.03.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
409	1941.02.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			五十嵐　徹夫	32養	漁業計画生産私見
408	1941.01.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			門田　乃		在支偶感
407	1940.12.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			杢　山　人		雑言一束
			堀井　了	36漁	真の日本的自力本願愛国的科学に立て水産健児
406	1940.11.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			根岸　吉郎	36製	支那と缶詰
			横尾　保	33漁	東アフリカ一般事情（二）
405	1940.10.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			魚公生		水産昇格問題
			横尾　保	33漁	東アフリカ一般事情（一）
			一二三生		楽水夜話
404	1940.09.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			池田　文爾	22漁	刺突式漁具
			HW 生		潜水漁業の許可に就いて
403	1940.08.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			木公生		水産単科大学問題を語り合ふ
402	1940.07.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			濱名　亀助	22養	漁村道場訪問記
			黒沼　勝造	33養	水産学研究の原理とストックの問題
			川名　武	26養	潜水器漁業の許可について
401	1940.06.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			呑　水		支那を聞く
			島田　金三		上海南京旅行記（三）
			川上　太左英	35製	弾丸の音の分析
			石井　源太郎	32養	鳥取県下に於ける水産増殖の概況と水産報国運動に就きて
			宮田　真三		ノモンハンの戦闘
			安川　隆		ハルピン
			上田　哲夫	33漁	マルデイブ・フイッシュ
400	1940.05.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			土井　久之	26養	浅海増殖場の害敵「くわしぱん」の採取利用現況
			安原　良男	27漁	海南島を根拠地とする漁業
			島田　金三		上海南京旅行記（二）
399	1940.04.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			島田　金吾		上海南京旅行記（一）
398	1940.03.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			中村　良三		講演（二）
			内橋　潔	30養	鯛のはなし
397	1940.02.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			入澤　武夫	40養	楽水青年の蹶起を要望す
396	1940.01.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			林　茂樹	31養	内蒙古の横顔
			杉浦　保吉	9 漁	技術者の本分
			伏本　政樹	21漁	北支の底曳網漁業と関東州との関係に就いて
			中村　良三		講演（其の一）
395	1939.12.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			占　魚		養魚の日々
			真瀬　恒	28製	日満水産貿易の現状と将来の展望
					増加水産関係図書目録
394	1939.11.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			山村　夏彦		海に立つ靄
			本間　生		雲南ビルマ国境紀行
			白　邦子		沖縄漫談
			吉田　秀一	18漁	帰らぬ漁船への対策

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
394	1939.11.		金村　秀雄	36漁	上海漫談
			呑　水		食道談片
			林　茂樹	31養	素足の感触
			山田　栄次	33養	水産人の余技
			宮川　曼魚		川柳水産史
			占　魚		養魚の日々
					増加水産関係図書目録
393	1939.10.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			中谷　熊楠	21漁	上海と水産（四）
392	1939.09.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			中谷　熊楠	21漁	上海と水産（三）水
391	1939.08.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			中谷　熊楠	21漁	上海と水産（二）
					新寮歌
					我等が母校
390	1939.07.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			土井　久之	26養	宇品港
			林　茂樹	31養	私の支那歌
389	1939.06.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
					記念祭記
			杉浦　保吉	9漁	新刊「伊谷以知二郎伝を読みて」
					製造文献集
388	1939.05.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			杉浦　保吉	9漁	創立五十周年記念式式辞の要領
			佐々木　沖太郎		創立当時の回顧
			山村　夏彦		揚子江を遡る
387	1939.04.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
					製造文献集
386	1939.03.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			村上　秀次郎	2養専	「水産教育と北海道」を読みて
			田中　丸祐厚		漁村問題座談会
			藤田　四郎	30養	藤田博士の「水産教育と北海道」を読みて
					製造文献集
385	1939.02.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			中野　正剛		科外講演
					台湾の一角に寄港した練習船白鷹丸を迎へて
384	1939.01.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			宮崎　賢一		朝陽映島漢口陥落
			弁論部		漁村講演旅行
			白井　春雄		権津井之記
			有馬農林大臣・杉浦水産講習所長		水産の夕
			山村　夏彦		南京よさらば
			占　魚		養魚の日々
383	1938.12.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			山田　栄次	33養	雑談
			中谷　熊楠	21漁	上海と水産（一）
			真瀬　恒	28製	日満水産貿易の現状と将来の展望
			黒沼　勝造	33養	「大英博物館魚類目録」紹介
382	1938.11.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			庄　悦二		鏡泊湖
			弁論部		漁村講演旅行
			武南八		続五十物集
			杉浦　保吉	9漁	日本の漁業
			金村　秀雄	36漁	倭寇雑談
					水産講習所増加水産関係図書目録
					水産製造文献目録集
381	1938.10.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			田中　耕之助	14漁	帰朝談
			弁論部		漁村講演旅行

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
381	1938.10.		青柳　正二 田中　清治	39製	壮夫撫剣
					水産製造文献目録集
380	1938.09.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			HW 生		伊豆地方に於ける天草漁業に就いて
					水産講習所学生集団勤労奉仕
			真瀬　恒	28製	日満水産貿易の現状と将来の展望（一）
			宮崎　賢一		文禄の役を偲ぶ
					メヒコ便り
379	1938.08.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			土井　久之	26養	磯売を廃し組合員自らが漁業をして収益を増した話
			金井　元	29漁	沖縄の採貝漁業
			松井　佳一	17養	メキシコの水産について
378	1938.07.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
					増加水産関係図書目録
377	1938.06.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			下位　春吉		世界不安の推移と日支事変
			山川　洵		中支水産視察行雑感
			桑野　英文		中支旅行記
			岩間　忠彦		帆走印象記
					養殖ハイキング
376	1938.05.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			下村　宏		最近の国際政局
375	1938.04.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			勅使河原　實		石川県に於ける代表的鰤漁場に就いて（二）
			安原　良男	27漁	白鷹丸第15次航海（二）
			岡本　清造		水産経済の概念及び内容（六）
374	1938.03.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			森川　友一		支那事変の遠洋漁業に及ぼせる影響と其の対策
			安原　良男	27漁	白鷹丸第15次航海
373	1938.02.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			渡辺　東雄	25漁	上海戦地に触るるもの
372	1938.01.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			勅使河原　實		石川県に於ける代表的鰤漁場に就いて（其の一）
			久保　伊津男	36養	陣中より動物標本
			庄　悦　二		満州の水産業（三）
371	1937.12.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			水産講習所弁論部		伊豆七島巡回講演紀行（五）
			土井　久之	26養	鹿児島県の漁村で拾った話
			岡本　清造		水産経済学の疑念と内容（二）
			庄　悦　二		満州の水産業（二）
370	1937.11.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			水産講習所弁論部		伊豆七島巡回講演紀行（四）
			金井　元	29漁	沖縄の追込網漁業
			岡本　清造		水産経済学の概念と内容（一）
			豊田　正謙	33漁	朝鮮に於ける鯖巾着網漁業（二）
369	1937.10.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			青　海　照		水産教育論（続二）
			川名　武	26養	潜水の感想と一管見
			O　生		近頃の楽水を見て
			HS　生		匪賊に襲われた話
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集　第86集（346～349）
368	1837.09.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			岡本　清造		水産経済の概念及び内容（五）
			橋本　源八	39漁	遠漁生活
			庄　悦　二		満州の水産業
			土屋　武		水産講習所増加図書目録
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集　第86集（346～349）
367	1937.08.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			水産講習所弁論部		伊豆七島巡回講演紀行（三）
			高島　胤雄	18養	漁業の統制からイセエビの増殖した実例
			青　海　照		水産教育論（続一）

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
367	1937.08.		岡本　清造		水産経済の概念及び内容（四）
			東　道太郎	8養	藻類雑記（93～94）
			土屋　武		水産講習所増加図書目録
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録第85集第86集（342～345）
366	1937.07.		星野　佐紀	6伝	伊谷先生と鰮油漬缶詰
			青木　三雄	22養	伊谷先生と醒井養鱒場
			武藤　礼二	1漁	伊谷先生と鰊漁業
			松生　義勝	16製	警策録
			高橋　熊三	7伝	故伊谷先生御肖像，その他，思い出二つ三つ
365	1937.06.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			水産講習所弁論部		伊豆七島巡回講演紀行（二）
			岡本　清造		水産経済の概念及び内容（四）
			豊田　正謙	33漁	朝鮮に於ける鯖巾着漁業（一）
			紅林　浩 関谷　治郎	38製 33漁	南氷洋捕鯨談
			紀平　正美		日本精神
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集第86集（339～341）
364	1937.05.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			勅使川原　實		石川県下に於ける機船底曳網漁業概観
			水産講習所弁論部		伊豆七島巡回講演紀行
			岡本　清造		水産経済の概念及び内容（二）
			土井　久之	26養	広島県民の比律賓漁業移住雑話
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（331～334）
363	1937.04.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			粟屋　協二		沖縄を語る
			ひでかづ		漁寮漫筆
			岡本　清造		水産経済の概念及び内容（一）
			上野　省三	14漁	南洋に於ける水産事情
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（336～338）
362	1937.03.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			土井　久之	26養	沿岸漁業調整の必要上生れ出た団体事例
			ひでかづ		漁勞随筆（その二）
			若林　忠雄	12製	上海の話
			小島　信司	23漁	北洋鮭鱒漁業の統制について
			里見　禎 天野　慶之	36製	雪艇散歩記
			羽原　又吉	特会	私の水産入門時代
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（319～320）
361	1937.02.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			莫　能　量		科学批評について
			川本　寿雄		漁村副業助長の一考察
			安原　良男 中村　佐吉	27漁	白鷹丸第13次航海
			岡本　清造		水産業の概念及び内容（二）
			武　南　八		水産小噺　五十物集（下）
			渡辺　富蔵	17製	フアストページとラストページ
			函館楽水会		北洋鮭鱒漁業の統制に就いて
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（323～328）
360	1937.01.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			山名　桂介		鱗の通信
			豊田　正謙	33漁	北鮮に於ける鰮巾着網漁業
			ひでかづ		漁勞漫筆（その一）
			安原　良男	27漁	白鷹丸第13次航海（二）
			岡本　清造		水産業の概念及び内容（一）
			武　南　八		水産小噺　五十物集（上）
			十川　正夫	21漁	ソヴエートロシヤの漁業
			太田　知度		再び生産力の発展に於ける技術の役割に就いて
359	1936.12.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			ひでかづ		漁勞漫談
			HS　生		佐渡に遊ぶ
			安原　良男 中村　佐吉	27漁	白鷹丸第13次航海

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
359	1936.12.		東　道太郎	8養	藻類雑記
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（320～322）
358	1936.11.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			ひでかづ		漁勞随筆（その一）
			岡本　清造		水産業の特質と諸問題（二）
			棚橋　鐘一郎	特会	ニュー・デイールとアメリカ
			新野　二郎	24漁	久松侍従御便乗に供奉して
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（314～319）
357	1936.10.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			藤田　政勝	1養	九州海面上に出現する不知火現象の解決
			林田　不二生		指導船（二）
			栗田　要吉	18漁	志摩の船潜女
			岡本　清造		水産業の特質と諸問題
			石島　渉	30養	南洋諸島を巡りて（九）
			竹本　正文		水眼鏡
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（311～313）
356	1936.09.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			豊田　正謙	33漁	茨城県下に於ける鰮揚網漁業の現況
			堀江　禮助 藤津　省三	39漁	白鷹丸だより
			島田　浦	22製	真空管常識
			馬場　駒雄	11漁	南氷洋に於ける捕鯨工船の話
			栗田　要吉	18漁	南洋行きの真珠介漁船
			新入生		楽水の卵
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第85集（307～310）
355	1936.08.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			酒向　昇	33漁	各県漁業指導船収入予算減額論
			太田　知度		生産力の発展に於ける技術の役割
			松下　政雄		伝書鳩
			向達　光次郎		飛島
			石島　渉	30養	南洋群島を巡りて（八）
			小川　博民		ふぐ（五）
			苅米　義		蘭領印度諸島に於ける水産業
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第84集（301～306）
354	1936.07.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			林田　不二生		指導船（一）
			八代　喜代		初等水産数学の問題（二）
			山根　揆一	14漁	太公望と釣船
			石島　渉	30養	南洋群島を巡りて（七）
			小川　博民		ふぐ（四）
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第84集（296～300）
353	1936.06.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
					伊谷先生を拝して
			鯱　雄		小笠原島に来遊する鯨
			佐々木　繁太郎	2製	偶感
			八代　喜代		初等水産数学の問題（一）
					水産デー講演会に於ける女学生の感想
			小川　博民		ふぐ（三）
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第84集（289～294）
352	1936.05.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			加藤　精一	33養	「空の虱」に就て
			杢　山　人		「日向の鮪漁業」撮影記録
			山名　桂介		鱗の通信
			潮　路		思い出のラッコ船（四）
			魚住　清適		釣と魚の習性
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集第83集（285～288）
351	1936.04.		杉浦　保吉	9漁	巻頭言
			潮　路		思い出のラッコ船（三）
			熊凝　武晴	28漁	海洋漁業運用の一検討
			中津　伊勢夫		水産教育随想（二）
			伴　善　居		南洋真珠貝漁業の躍進的発展
			小川　博民		ふぐ（二）

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
350	1936.03.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			杉浦　保吉	9 漁	Aquatic Industry in Japan
			渡辺　富蔵	17製	異端者の手記
			潮　路		思い出のラッコ船（二）
			中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（十四）
			澤田　正順	28製	缶詰雑談
			蜷川　虎三	20養	経済更生運動と漁村問題
			安原　良男	27漁	白鷹丸定期検査
			石島　渉	30養	南洋諸島を巡りて（六）
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集第84集（282～284）
349	1936.02.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			古川　武毅	22製	需給関係から見た蟹缶詰
			安原　良男	27漁	白鷹丸第12次航海
			栗田　要吉	18漁	瀬戸の家船に保存する文翰
			小川　博民		ふぐ（一）
			越智　章	14漁	マイアフオーム
			松下　政雄		漫筆「毒草」
			錦魚子編		水の幸（十三）
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（278～281）
348	1936.01.		杉浦　保吉	9 漁	巻頭言
			庵原　順一	22漁	英国のトローラーに乗船して
			潮　路		思い出のラッコ船（一）
			白山　凡		漁業権制度の一考察
			金村　秀雄	36漁	随筆
			松島　重蔵	37製	フイシュミール現況と其の輸出対策
			錦魚子編		水の幸（十二）
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（273～277）
347	1935.12.		東海　大郎		藻類雑記
			錦魚子編		水の幸
			TY 生		モンバサ漁業便り
			木村　金太郎	8 製	附録水産製造文献目録集（267～272）
346	1935.11.		山名　桂介		鱗の通信
			如洋生		岡村サント荒和布橋
					海外事情
			木村　五郎	35養	碁盤蛤の話
			中津　伊勢夫		水産教育随想（1）
			神谷　尚志 松島　政生信	14養	水産雑誌を温ねて（10）
			石嶋　渉	30養	南洋群島を巡りて（4 ノ続）
345	1935.10.		高橋　熊三	7 伝	会務処理方針の概要に就て
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産雑誌を温ねて（9）
			林　茂樹	31養	釣りと船頭
			石嶋　渉	30養	南洋群島を巡りて
			岡本　清造		普魯西亞旧漁業法に於ける漁場入会関係の整理施設
			金村　秀雄	36漁	楽水会誌二分に対する一考察
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（第83集）（263～266）
344	1935.09.		熊凝　武晴	28漁	漁況放送を顧みて
			雅　堂		金鱗楽水に寄す
			門屋　守二		最近の布哇及新嘉坡に於ける日本製トマトサーヂン罐詰貿易（2）
			庵原　順一	22漁	諸威漁撈漫筆（2）
			神谷　尚志 松原　政信	14養	水産雑誌を温ねて（8）
			安川　生		夏の飲物
343	1935.08.		竹本　正文		小色式海水比重簡易換算表に就きて
			蜷川　虎三	20養	この頃想ふこと
			庵原　順一	22漁	諸威漁撈漫筆（1）
			神谷　尚志 松原　政信	14養	水産雑誌を温ねて（7）
			石嶋　渉	30養	南洋諸島を巡りて

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
343	1935.08.		TY 生		貧乏人
			MT 生		モンバサ便り
			門屋　守二		最近の布哇及新嘉坡に於ける日本製トマトサーヂン罐詰貿易（1）
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（第82集）（259～262）
342	1935.07.		神谷　尚志 松島　政信	14養	水産雑誌を温ねて（6）
			石嶋　渉	30養	南洋諸島を巡りて
			青木　林蔵	24製	マット・グロッソ行
			高橋　熊三	7 伝	楽水会誌改題並に水産研究誌発行について
			木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（第82集）（255～258）
341	1935.06.	報文	矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（7）
			KH 生		漁網斜断方法に就いて
			後藤　豪	23漁	日向水産雑和（1）
			清水　淳三 立野　新光	18製 30養	フイッシュミール分析の実際に就いて（第 3 報）（水分の定量に関する研究）
			清水　淳三 立野　新光	18製 30養	フイッシュミール分析の実際に就いて（第 4 報）（脂肪の定量に関する研究）
		資料	中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（13）
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産雑誌を温ねて（5）
		附録	木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（第82集）（249～254）
340	1935.05.	報文	鵜澤　久則	31漁	鰹漁業の一考察
			後藤　豪	23漁	日向鮪の新漁法，流縄釣に就いて
			清水　淳三 立野　新光	18製 30養	フイッシュミール分析の実際に就いて（第 1 報）（全窒素の定量に関する研究）
			清水　淳三 立野　新光	18製 30養	フイッシュミール分析の実際に就いて（第 2 報）（全燐酸の定量に関する研究）
			矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（6）
		資料	豊田　正謙	33漁	アラスカに於ける鮭鱒漁業の概観
			JT 生		各国有用魚名対照表
			保科利一抄訳	33養	魚のせむし病？
			竹本　生		楽水漫筆
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産雑誌を温ねて（4）
		附録	木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（第82集）（245～252）
339	1935.04.	報文	深山　義道 小坂部　勇	14製 35製	鱆鞣革法の研究
			矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（5）
		資料	浜名　亀助	22養	英国に於ける1934年の漁獲統計
			米井　俊雄		魚類塩蔵の原理（3）
		論壇	馬場　孟夫	24製	判例より見たる重要物産同業組合の組合員に対する支配権（2）
		文藻	石島　渉	30養	南洋諸島を巡りて（1）
			矢作　清司	37製	馬車漫々的（3）
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産雑誌を温ねて（5）
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	不忍池に対する希望
		附録	木村　金太郎	8 製	水産製造文献目録集（第82集）（237～244）
338	1935.03.	報文	後藤　豪	23漁	宮崎県に於ける鰹鮪適種漁船の大さ及び最近に於ける鮪延縄具並に餌料の推移
		資料	松井　魁	36養	海産細菌の分布及び特性に就て
			中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（12）
			深山　義道 小坂部　勇	14製 35製	皮の脱毛作業（皮革 5）
			岡屋　忠治	28製	魚類の死後其筋肉中に於けるグリコーゲンの減少と乳酸の蓄積に就て
			米井　俊雄		魚類塩蔵の原理（2）
		論壇	馬場　孟夫	24製	判例より見たる重要物産同業組合の組合員に対する支配権（1）
		文藻	山名　桂介		燕温泉雪艇行

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
338	1935.03.	文藻	神谷　尚志 松島　政信	14養	水産雑誌を温ねて（2）
			矢作　清司	37製	馬車漫々的（2）
		水眼鏡	雅　堂		路上断想
		附録	岡田　弥一郎	16養	水産生物文献集（3）（15～21）
			木村　金太郎	8製	水産製造文献目録集（第82集）（233～236）
337	1935.02.	報文	鶴田　三郎	32漁	日本海南西海区に於ける鯖漁況の一考察
			山本　孝治	31養	卵黄嚢を有する鯉仔魚の発育並に餓死と温度との関係に就て
		資料	深山　義道 小坂部　勇	14製 35製	皮の脱毛作業（皮革3）
			久保　伊津男	36養	米国産クルマエビの生活史
			米井　俊雄		魚類塩蔵の原理
		水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（8）
		論壇	森巳　太郎		水産攘夷論
		文藻	岡村　金太郎		台湾の一瞥
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産雑誌を温ねて（1）
		水眼鏡	清水　亘	27製	再び水産製造会に就て
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	魚鳥の新観察
336	1935.01.	報文	加藤　五郎	35養	車蝦のノープリアス及びゾイアと鹹度との関係
			武久　伊作		農作物の豊凶・漁況の変化と海況に就て
			矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（5）
		資料	中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（11）
			深山　義道 小坂部　勇	14製 35製	皮の脱毛作業（皮革4）
			野口　泰夫	31製	餌料脂肪の立場から見た魚粉脂肪に就て
		水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（7）
		論壇	杉浦　保吉	9漁	水産学校と漁民道場
			佐々　達一	28製	水産製造労働問題とソシアルダンピングに就て
		文藻	玉川　晴朗		北海道から樺太へ（2）
335	1934.12.	報文	東原　正雄	29製	鰹節製造法の改良法「水抜蒸煮法と其の効果に就て」
			保田　義夫		三重県鰯網漁業小観（2）
			矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（4）
		資料	斎藤　宗一	32養	北太平洋横断観測資料（第2報）
		講演	松井　佳一	17養	金魚の祖先と其の進化
		水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（6）
		論壇	田中　茂穂		水産養殖に就いて
		文藻	玉川　晴朗		北海道から樺太へ
		水眼鏡	千葉　漁人		無駄を省くため
		附録	東道　太郎	8養	藻類雑記（9）
334	1934.11.	報文	木下　虎一郎 平野　義見	27養 34養	エゾアハビの成長に就て
			栗田　要吉	18漁	敦賀湾の餌曳網
			保田　義夫		三重県鰯網漁業小観（1）
			矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（3）
		資料	深山　義道 小坂部　勇	14製 35製	皮の水洗及軟化作用（皮革2）
		水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（5）
		論壇	杉浦　保吉	9漁	実業教育実施50周年に当り水産教育制度の変遷を顧る
		文藻	矢作　清司	37製	馬車漫々的
		水眼鏡	菅俣　吉之助	12養	東京の変遷
		附録	酒井　檄 古幡　一夫	25養 33養	村山貯水池に於ける生物学的水質調査（6）
333	1934.10.	報文	海老名　謙一	23養	かじき・きはだ・いしなぎ・まだひの卵巣
			菊池　鶴松	26養	高知県営淀川発電所発電事業に伴ふ魚族補殖公式に就て
			古幡　一夫	33養	都市排水と内湾（東京湾）
			矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（2）
		資料	深山　義道 小坂部　勇	14製 35製	皮の貯蔵及貯蔵中に於ける変化（皮革1）
			浜名　亀助	22養	諾威フヨルドに於けるブリスリングの音響測定
			安原　良男	27漁	ダッチハーバーに於ける鰊刺網漁業

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
333	1934.10.	水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（4）
		論壇	西川　定一	27漁	鰹鮪遠洋漁業の現勢と将来に対する経済的動向に就ての一見解
		文藻	明石　博次		故小林彦四郎氏遺族を月山養魚場に迎ふ
			中津　伊勢夫		万葉集水産考（11）
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	赤蜻蛉
		附録	酒井　櫟 古幡　一夫	25養 33養	村山貯水池に於ける生物学的水質調査（5）
332	1934.09.	報文	小野　豊樹	26製	魚粉の化学的処理の二，三に就て
			矢野　実	13製	関東及び関西魚類卸売市場から見た生魚の研究（1）
		資料	井川　正二郎	35製	鉱山，工場廃水の処理方法（3）
			浜名　亀助	22養	プランクトン・エンヂケーターの試験に就て
		水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（3）
		論壇	畑谷　丑太郎	3製専	北千島漁業の発展
			内橋　潔	30養	生物に於ける量と質との発展
			明石　博次		田中博士の「水産に関する一見解」を読みて紅鱒，河鱒，増殖事業の現況を述ぶ
		文藻	中津　伊勢夫		万葉集水産考（10）
		水眼鏡	北光生		漁業政策に是正を要す
		附録	酒井　櫟 古幡　一夫	25養 33養	村山貯水池に於ける生物学的水質調査（4）
331	1934.08.	報文	熊凝　武晴	28漁	船舶の復元力に就て
			村上　義威	27養	八戸地方に於ける漉昆布の調査
		資料	淵崎　顕三		蟹缶詰の検査に就て
			井川　正二郎	35製	鉱山，工場廃水の処理方法（2）
			馬場　孟夫	24製	昭和８年度鮪缶詰界の概況
			土井　久之	26養	水産業者死亡原因調査の結果
			富桝　建造	特会	藤田式鰊及鰯汲揚機
		水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（2）
		文藻	松生　義勝	16製	英露見たまま，聞いたまま
			水越　幸雄		漁場をたづねて（完）
		附録	酒井　櫟 古幡　一夫	25養 33養	村山貯水池に於ける生物学的水質調査（3）
330	1934.07.	報文	海老名　謙一	23養	「かぐらざめ」に就て
			福岡　國男	24製	ケルプミールに就て
			海老名　謙一	23養	古代的魚「らぶか」
		資料	井川　正二郎	35製	鉱山，工場廃水の処理方法（1）
			古川　雅堂		昭和８年度蟹缶詰界の展望
			茂木　喜一郎	33養	稚魚の酸素消費の試験
		水産学論叢	吉田　秀一	18漁	トロール漁業（1）
		論壇	田中　茂穂		水産に関する一見解
		論壇	岡上　健夫		輸出水産物取締法解説
		文藻	木村　杢		日向巡礼
		水眼鏡	近江　湖南		会費難なる哉
			玉川　晴朗		水産クラブを提唱す
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	エラブ鰻の話
		附録	酒井　櫟 古幡　一夫	25養 33養	村山貯水池に於ける生物学的水質調査（3）
329	1934.06.	報文	海老名　謙一	23養	静岡県下でとれた「サケガシラ」
			島田　浦	22製	自働濾過装置と漏斗台の一利用法に就て
		資料	志賀　岩雄		鰮缶詰製造に於て焙炙法が何ういふ風にして油煠法に変ったか
			小坂部　勇	35製	タンニン鞣を早く完了する方法に関する特許並に報告について
			MT生		デイーゼルトローラー東光丸
		論壇	青海　照		漁りの芽（2）
			馬場　孟夫	24製	水産組合の当然加入に就て
		水眼鏡	孫太郎虫		蟹の泡
		雑纂	蒲原　稔治		土佐の淡水魚
		附録	酒井　櫟 古幡　一夫	25養 33養	村山貯水池に於ける生物学的水質調査

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
328	1934.05.	報文	清水　定雄		掬揚式魚道
			吉村　新吉		日本の湖沼の標式と生産力
		資料	関根　宗三	34製	愛知県名産串蝋に就て
			清水　亘	27製	揮発性寒剤に依る急速冷凍法
			井川　正二郎	35養	鉱山，工場廃水と其の検出方法（2）
			斎藤　宗一	32養	北太平洋横断観測資料（第１報）
		論壇	青海　照		漁りの芽（1）
		文藻	金村　秀雄	36漁	漁場をたづねて（5）
			水山　健		第三の漁場（4）
			木村　杢		日向巡礼
		水眼鏡	藤井　文太郎		統制はどこへ行く
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	日本民間薬草集覧を読むの記
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（25）
327	1934.04.	報文	西川　定一	27漁	鰹鮪遠洋漁業の将来と其経営法の基準に就て
			小野　功一		水産製品検査事業に就て（2）
			西川　定一	27漁	鰤鰆の漁況予察の一考察
		資料	清水　亘	27製	魚類塩蔵の際に起る化学変化
			井川　正二郎	35養	鉱山，工場廃水と其の検出方法（1）
			川副　二郎		比律賓群島産繊維類の等級に就て
		論壇	蜷川　虎三	20養	漁村教育の実際問題
		文藻	氷川　健		第三の漁場（3）
		水眼鏡	孫太郎虫		東京湾内の釣場更生
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	日本民間薬草集覧を読むの記
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（24）
326	1934.03.	報文	小野　功一		水産製品検査事業に就て
			古幡　一夫	33養	北洋沿岸（カムサッカ，アラスカ）二三の水質
		資料	渡辺　亨	33漁	漁網生産組合の一資料として
			松沼　平八郎		東京市の金魚養殖事業に就て
		講演	中村　嘉壽	3 漁	日本商品の世界進出
		論壇	松尾　博		漁業組合の指導方針を確立せよ
		文藻	金村　秀雄	36漁	漁場をたづねて（4）
			水山　健		第三の漁場（2）
			中津　伊勢夫		万葉集水産考（9）
		雑纂	石島　渉	30養	水産に関する記事の掲載される雑誌報告類
			菅俣　吉之助	12養	日本民間薬草集覧を読むの記
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（23）
325	1934.02.	論叢	川本　籌雄		漁業者と資産
			鶴田　三郎	32漁	非常時日本に於ける水産発展策を論ず
		報文	古幡　一夫	33養	内湾（神奈川県下金澤湾）海水の特異性に就て
		資料	南部　辰眞	29漁	奥戸布海苔製造業調査
		資料	中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（9）
			安原　良男	27漁	鮭鱒沖取漁業とブリストル湾
			熊凝　武晴	28漁	羅針儀の将来
		講話	中川　甚蔵	16遠漁	白鷹丸第８次航海の話
		文藻	金村　秀雄	36漁	漁場をたずねて（3）
			水山　健		第三の漁場（1）
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	珊瑚ヲ薬ニシタ話
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（22）
324	1934.01.	懸賞論文（二等）	山本　三郎	32製	非常時日本に於ける水産の発展策を論ず
		報文	福岡　國男	24製	鮪肉の「ハニカム」の一成因に就て
			江良　至徳	27製	
			芦川　栄一	34製	
		懸賞論文（三等）	佐々　達一	28製	非常時日本に於ける水産の発展策を論ず
		懸賞論文（佳作）	鈴木　千蔵		非常時日本に於ける水産の発展策を論ず
			藤田　正勝		非常時日本に於ける水産の発展策を論ず
		資料	熊凝　武晴	28漁	サルノグ
			C・A・生		南支，海南島の漁業
		講演	大島　幸吉		蟹缶詰業の発展策
		文藻	金村　秀雄	36漁	漁場を尋ねて（2）
			川田　三郎		
		水眼鏡	白浦　釣人		水産物の検査と市場性
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（21）

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
323	1933.12.	報文	池田　信也		表南洋に於ける鮪延縄漁場の海況と鮪の遊泳層について
			神奈川水産会		神奈川県平塚市漁村経済調査（4）
			花田　信次郎	27養	内地産及び南洋産鰹節の化学成分に就て
		資料	野澤　弘幸		蟹缶詰用内面塗料に於ける諸問題
			中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（8）
					ビルマ漁業事情
			吉田　秀一	18漁	米国 AAA 内に水産部門新設
		論壇	市島　信郷	34漁	焼津に於ける鰹鮪漁業
		文藻	呑　水		郷土行脚（完）
		水眼鏡	海彦生		淡水と鹹水
		附録	東道　太郎	8養	藻類雑記（3）
			後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（20）
322	1933.11.	報文	神奈川水産会		神奈川県平塚市漁村経済調査（3）
			清水　淳三	18製	樺太に於けるカニ缶詰に就て（完）
			山本　重雄		魚眼の研究より得たる鰹漁業上の参考点
		資料	浜名　亀助	22養	音響測深機に依る魚群の発見
			中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（7）
			岡村　金太郎		白鷹丸採集の海藻
		論壇	吉田　秀一	18漁	水産の研究題目に就て
		文藻	呑　水		郷土行脚（8）
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	エラブ鰻
			菅俣　吉之助	12養	狐ノ舌
			孫太郎		植物を磁石代用として方向を知る法
		附録	東道　太郎	8養	藻類雑記２
			後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（19）
321	1933.10.	報文	神奈川水産会		神奈川県平塚市漁村経済調査（2）
			清水　淳三	18製	樺太に於けるカニ缶詰に就て（3）
			古幡　一夫	33養	北千島の水質に就て
			鷹司　信敬	20養	魚の鑑賞に就て
		資料	I・Y・生		漁業指導取締船の精鋭
			眞黒　米華		昭和７年度鮪油漬缶詰業界の展望
			猿谷　九万	28製	油脂に及ぼす光線の作用
		論壇	菊池　鶴松	26養	南国土佐に於ける虹鱒増殖に就いて
			渡邊　久克		米国産業復興法実施後の経済並に今後の予想
		文藻	呑　水		郷土行脚（7）
		水眼鏡	呑　水		支那風呂
		雑纂	藤田　政勝	1養	鰻子と云はるる「レプト」に就て
			菅俣　吉之助	12養	正覚坊の油
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	無用の長物利用論
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（18）
320	1933.09.	報文	東原　正雄	29製	蒲鉾輸送試験
			清水　淳三	18製	樺太に於けるカニ缶詰に就て（2）
			古幡　一夫	33養	垂下式養蠣の異常斃死を観察して
			神奈川県水産会		平塚市漁村経済調査書
		資料	小林　武	48製29養	寒天に関する資料（3）
			藤田　政勝	1養	魚類の餌料と消食器との考察
			南部　辰眞	29漁	鮮魚歩留調査
		論壇	田中　茂穂		新生物学と水産
			高碕　達之助	9製	米国産業統制法と我輸出缶詰の対策
		文藻	呑　水		郷土行脚（6）
			中津　伊勢夫		万葉集水産考
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	膃肭臍
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（17）
319	1933.08.	報文	清水　淳三	18製	樺太に於けるカニ缶詰に就て
			斎藤　宗一	32養	ジャバ海雑魚
			二ノ宮　金治郎		単寧鞣せる鮫皮に及す酸の影響
		資料	小林　武	48製　29養	寒天に関する資料（2）
			南部　辰眞	29漁	水産製品の試買成績に就て
		論壇	岡田　弥一郎	16養	欧米の動物学研究所を巡りて
		文藻	呑　水		郷土行脚（5）

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
319	1933.08.	文藻	金村　秀雄 川田　三郎	36漁	漁場を尋ねて（1）
		雑纂	川本　信之	26養	魚類の生理正誤表
		附録	東道　太郎	8養	藻類雑記（1）
			後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（16）
318	1933.07.	報文	斎藤　宗一	32養	ジャバ海産蟹類
			吉田　裕	26養	ニシン及マイワシ稚仔の比較
			清水　定雄		琵琶湖産小鮎の標識放流
		資料	古幡　一夫	33養	蚊の駆除に魚類の利用
			中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（6）
			小林　武	48製29養	寒天に関する資料
			茂木　喜一郎	33養	シラス鰻の移動の原因に就て
			岡田　弥一郎	16養	淡水魚の生態研究
		論壇	森川　友一		漁船水難救済事業に就て
		文藻	呑　水		郷土行脚
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	紫外線で真珠の真偽を鑑定する法
317	1933.06.	資料	丸川　久俊 全炳晳	7養	「おほくりがに」に就て
			岩本　正一	25製	炭酸ガスの熱力学的研究（2）
			南部生		東京を中心とせる川魚の取引方法及入荷経路
			斎藤　定蔵		船底の虫と塗料
		講演	間庭　秀文	23製	満州里籠城の思ひ出
		論壇	漂海坊		機船底曳網漁業者は何処へ行く
			藤田　政勝	1養	水産養殖技術上消毒手術の効果に就て
			志野　徳助		捕鯨事業と一般遠洋漁業
		文藻	中津　伊勢夫		万葉集水産考（7）
		水眼鏡	葦　人		思ひのまま
			一筆生		津浪の浄化
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	電気抵抗器の話（1）
			菅俣　吉之助	12養	電気抵抗器の話（2）
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（14）
316	1933.05.	報文	全炳晳		石井氏の「タラバガニ」に関する生態変種説に就て
			日比谷　為蔵	18養	湖沼に於ける大量漁獲法の一例
			後藤　豪	23漁	最近に於ける宮崎県の漁具漁法の変遷と鰮漁具としての巾着網と棒受網
			漂海坊		但馬湾に於ける機船底曳網漁業
		資料	熊凝　武晴	28漁	音響測深機に就て
			宝来　利一		魚鱗の用途
			斎藤　一雄	32製	諾威鮪漁業と鮪缶詰
			熱田　寮		炭酸瓦斯に関する熱力学的研究（1）
			矢野　一郎		我遠洋漁業の新勢力
		講座	川本　信之	26養	魚類の生理（8）
		論壇	田中　茂穂		水産を研究する方法
			志野　徳助		捕鯨船長の資格と其習練
			佐々木　繁太郎	2製	満州国と本邦水産業（前承）
		詞藻	高橋　順		鯛浦観鯛群
			山田　澄水		春の磯
		水眼鏡	呑　水		釣往来
			呑　水		時の氏神
		雑纂	藤田　耕造		水産に因む運命観
			菅俣　吉之助	12養	養殖して洋食となる蝸牛の話
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（13）
315	1933.04.	報文	川本　籌雄		漁村と漁獲統計
			川本　由一		虹鱒の人工餌料試験並に鱒の飼育に就て
		資料	漂海坊		漁業者に対する発動機教育の実際について
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産古書解題（4）
		論壇	松尾　博		北満河川漁業の開発を提唱す
			Ｙ　Ｉ　生		水産漫談（3）
			白石　義晃		廣島市を通して都市漁業者を観る
		文藻	T. H. S		練習航海（12）

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
315	1933.04.	水眼鏡	藤田　耕造		いたちごっこ
			一竿子		龍神夜話
		雑纂	藤田　耕造		易学より観たる水産
			竹本　正文		昭和７年楽水誌を製本して
			菅俣　吉之助	12養	骨を折って，骨を買った話
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（12）
314	1933.03.	報文	三宅　登		水産貿易界の展望（上）
			日暮　忠	10養伝	日光山中の湖沼の養魚事業
		資料	中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（5）
			木下　虎一郎	27養	紀州産蝦蟹類若干
			野口　泰夫	31製	急速冷凍に於ける化学的の問題（2）
			澤登　謹次	29製	合理化されたる宣伝の一例
			斎藤　一夫	32製	魚の皮膚病治療に就て重大な発見
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産古書解題（3）
		講座	川本　信之	26養	魚類の生理（6）
		論壇	笠松　弥一	9漁	会誌散見漫筆（2）
			蜷川　虎三	20養	漁業組合問題論戦観（2）
			Ｙ　Ｉ　生		水産漫談（2）
		文藻	呑　水		郷土行脚（3）
			なにがし		大宮の一泊
			T. H. S		練習航海（11）
		水眼鏡	松澤　定五郎	25製	考へること，考へさせられること
			大口人		抜きん出る為には
			浜の松		友人の感想
		雑纂	斎藤　一雄	32製	金魚の色に関して
			野口　泰夫	31製	正誤表
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（11）
313	1933.02.	報文	茂木　喜一郎	33養	草津白根山爆発と利根川に及ぼす被害
		資料	浜田　亀助	22養	1931年の独逸国水産統計
			野口　泰夫	31製	急速冷凍に於ける化学的の問題（1）
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産古書解題（2）
			稲並　芳幸	31養	ローマ人と牡蠣
		講座	川本　亀助		魚類の生理（5）
		論壇	蜷川　虎三	20養	漁業組合問題論戦観（1）
			Ｙ　Ｉ　生		水産漫談（1）
		論壇	佐々木　繁太郎	2製	満州国と本邦水産業
		文藻	T. H. S		練習航海（10）
			呑　水		郷土行脚（2）
			中津　伊勢夫		万葉集水産考（6）
		水眼鏡	一筆生		牡蠣の冤罪
			蜷川　虎三	20養	水産のために
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	イボタ虫の養殖
			浜名　亀助	22養	魚の睡眠に就て
			斎藤　一雄	32製	サンフランシスコ蟹漁業
			志野　徳助		操舵に就いて
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（10）
312	1933.01.	報文	吉田　裕	26養	サバヒーの繁殖並に稚仔に就きて
			藤田　四郎		鰌の習性に就て
			東道　太郎	8養	日本産有用藻類に就て
		資料	鈴木　千蔵		外国為替崩落の米国水産缶詰市場に及ぼしたる影響
			野口　泰夫	31製	海洋化学の立場から見た「いがい」に就て
			中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（4）
			神谷　尚志 松島　政信	14養	水産古書解題（1）
			稲並　芳幸	31養	世界各国に於て使用される魚類標識の種類
			飯尾　公壽		有利なる新式セービングス，トロール
		講座	川本　信之	26養	魚類の生理（4）
		論壇	三浦　定之助	12漁	科学者よ！腕を養へ
			志野　徳助		漁村を救ふには植林の要なきや
			笠松　弥一	9漁	水産ブローカー

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
312	1933.01.	文藻	呑　水		郷土行脚（1）
			T. H. S		練習航海（9）
		水眼鏡	イセ夫		会誌展望
			小林　音八	2 漁	北氷洋を経る欧亜の聯絡
			一筆　居士		卒業論文復活を叫ぶ
			FT　生		目次に対する注文
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	魚類の害敵孫太郎虫の話
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（9）
311	1932.12.	報文	稲並　芳幸	31養	淡水産水草に含有せらるるビタミン B の量に就て
			田中　丸祐厚		独逸を中心とする「フイッシュミール」に就いて
		資料	斎藤　一郎		塩素と魚
			中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（3）
			谷川　英一		缶詰内細菌の研究文献
			草間　秀俊	30漁	魚をより多く積むために
			加藤　清一郎	20製	鮪缶詰に就て
		講座	川本　信之	26養	魚類の生理（3）
		論壇	笠松　弥一	9 漁	会誌散見漫筆
			志野　徳助		多数の遭難漁船，果たして避けしめ得ざりしや
		文藻	浜田　重行	33製	南航記
			T. H. S		練習航海（8）
		水眼鏡	P　生		会誌11月号を見て
			モミジコ		希望二三
			呑　水		台所改善論
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（8）
310	1932.11.	報文	志野　徳助		霧中航行に就いて
			菊池　鶴松	26養	高知県下に於ける稚鮎，鰻児採用「上り樋落」漁法に就て
			安原　良男	27漁	白鷹丸第 6 次航海に於ける鮭鱒流網実習
			石井　茂夫		二木博士のコレラと魚類に対する防疫上の疑義
		資料	中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（2）
			野口　泰夫	31製	魚油のクラッキング
		講座	川本　信之	26養	魚類の生理（2）
		論壇	志野　徳助		板子一枚下は地獄にあらず
			K　生		牡蠣の苦言
		文藻	中津　伊勢夫		万葉集水産考（5）
			T. H. S		練習航海（7）
		水眼鏡	P　生		会誌への希望
			P　生		当局並業界の先輩へ
			物好む人		はやり言葉二つ
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（7）
309	1932.10.	報文	志野　徳助		厚岸湾の冬期捕鯨業の実蹟（下）
			太田　知度		活魚車ナ十号に就て
			田中　茂穂		分類学と水産
			志野　徳助		厚岸湾の冬期捕鯨業の実蹟（下）
		資料	中村　秀也	33養	ガラスを通して見た水族生態の観察（1）
			小林　音八	2 漁	漁業権変更処分は行政訴訟事項なり
			斎藤　一雄	32製	日本蟹缶詰開拓に興味ある例
		講座	川本　信之	26養	魚類の生理（1）
		論壇	蜷川　虎三	20養	水産と時の問題
		文藻	蘇州生		海と俳句
			中津　伊勢夫		万葉集水産考（4）
			佐田　一郎		養魚場だより
		雑纂	T. F　生		最近 5 か年間に於ける投稿者調べ
			菅俣　吉之助	12養	ザリガニの薬効（上）
			菅俣　吉之助	12養	矢柄が薬として売れた話
		附録	浜名　亀助	22養	鹿児島県近海産海藻目録
			後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（6）
308	1932.09.	報文	志野　徳助		厚岸沖の冬季捕鯨業も実蹟（上）
			後藤　豪	23漁	宮崎県に於ける動力付漁船改良の経過
		資料	伊谷以知次郎	1 伝	20余年前の「カニ及エビ缶詰の製法」
			稲並　芳幸	31養	鮎の餌料としての珪藻の価値に関する一考察
			XYZ		窮迫せる地方漁村不況の実情
		抄録	酒井　檄	25養	池の底部に於ける泥に含有せらるる溶液酸素の測定方法

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
308	1932.09.	論壇	南　摩紀麿		大敷網漁業に就て
		文藻	瀬村　孝三		波に揉まれる
			鶴田　三郎	32漁	日本に於ける洋船建造の濫觴となれる露艦遭難記
			中津　伊勢夫		万葉集水産考（3）
			T. H　S. 生		練習航海（5）
		雑纂	菅俣　吉之助	12養	薬としての水産物
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（5）
307	1932.08.	報文	菊池　鶴松	26養	高知県下檮原川に於ける檮原水力電気会社の魚族補殖事業
		資料	金子　尚		鰹漁業の考察
			栗田　要吉	18漁	宮津湾の魚類とその地方名称
		抄録	濱野　寛		魚類のグレーズに1氷に代る油の使用
			稲並　芳幸	31養	鱈に及ぼす光線の影響
			石島　渉	30養	布良に於けるプランクトンに就て垂直的分布状況
			石島　渉	30養	最近日本に発見された Stylocoenia の現生種
		論壇	武藤　禮二	1漁	漁業会社合同ぼ理想と将来
			三浦　定之助	12漁	水産学者と水産技術者私見（3）
		海外情報	浜名　亀助	22養	支那より鯉苗の輸入
			古川　雅堂		ソ側漁業塩蔵豊漁に転向
			古川　雅堂		ソ側北洋缶詰製造高
			古川　雅堂		ソ国缶詰業自営計画
			古川　雅堂		拿捕された川崎船奪還
			古川　雅堂		北洋漁夫引揚げ
		国内時事	古川　雅堂		鮭鱒沖取漁業の成功
			古川　雅堂		全国水産大会
		文藻	嵯峨　良夫		船を下りた友人の話
			中津　伊勢夫		万葉集水産考（2）
			T. H. S. 生		練習航海（4）
		水眼鏡	K　生		6月号を拝見して
			蜷川生	20養	法律を弄ぶ者
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（4）
306	1932.07.	報文	稲並　芳幸	31養	淡水産珪藻の培養に関する一記録
			川本　信之	26養	再び「バンスライク」器の使用法に就て
		報文	橋詰　友太郎	30製	天蠶糸管見補遺
		資料	藤田　政勝	1養	鮭の帰原性能作用に就て
			木下　虎一郎	27養	和歌山県下に起った渦虫類による牡蠣の被害
		抄録	茂木　喜一郎	33養	電気滲透による水質の清浄法
		論壇	呑水生		学界風景の一管見
			三浦　定之助	12漁	水産学者と水産技術者私見（2）
			A. B. C 生		読書「ページ」の新設を望む
		海外情報	浜名　亀助	22養	馬来半島に於ける魚類の供給
		文藻	山内　為之輔	特会	海蛇
			S. T. 生		小湊実習場断片
			F. I. I		北海の旅
			中津　伊勢夫		万葉集水産考（1）
			T. H. S		練習航海（3）
		雑纂	藤田　正	29養	会誌が出来上がるまで
			後藤　豪	23漁	漁具図譜を書く理由
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（3）
305	1932.06.	報文	藤田　政勝	1養	海中に於ける付着浸蝕性生物の被害防備の研究並応用
			佐々木　武雄	20漁	豆南以北の「トンボ」鮪漁況と海況の一観察
			矢野　實	13製	横浜市魚類部卸売業に就て
		資料	木村　金太郎	8製	「バチルス，ボツリヌス」及び近似嫌気性菌の芽胞の加熱抵抗力（完）
			古川　雅堂		アメリカ合衆国の蟹漁業
			稲並　芳幸	31養	珪藻の化学成分に就て
		抄録	岡屋　忠治	28製	「グリコーゲン」の溶解度に就て
		論壇	日暮　忠	10養伝	回顧三十有五年
			野村　康雄		缶詰に就ての提案二三
			小林　音八	2漁	水産界に於ける科学の一展開
			三浦　定之助	12漁	水産学者と水産技術者私見（1）
			栗田　要吉	18漁	是非考へて貰ひたきこと
			藤田　正	29養	本誌の存在意義と今後の方針に就て

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
305	1932.06.	文藻	中津　伊勢夫		みちのく採収行（完）
			T. H. S		練習航海（2）
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（2）
304	1932.05.	報文	山本　祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並に体液に関する研究（完）
			安川　隆		淡水中に於ける「コレラ」菌及び腸「チフス」菌の生存期間に関する研究
		資料	木村　金太郎	8製	「バチルス，ボツリヌス」及び近似嫌気性菌の芽胞の加熱抵抗力（1）
			木下　虎一郎	27養	紀州雑俎（2）
			酒井　檄	25養	職業別に見た水の使用状況
			浜名　亀助	22養	深海魚の一種
			武藤　千		船舶の歴史
		抄録	木俣　正夫	32製	塩蔵皮を紫汚染する細菌に就て
			岩本　正一	25製	加里の比色定量法
			木俣　正夫	32製	高級の海藻の硝酸塩蓄積に就て
		講演講話	丸川　久俊	7養	「タラバガニ」の話（完）
		論壇	大島　幸吉		太平洋上日露米の水産争覇戦
		海外情報	浜田　重行	33製	マニラに於ける漁業調査
		文藻	北岡　康雄訳	29漁	アラビア人のテント（完）
			中津　伊勢夫		みちのく採収行（2）
			T. H. S		練習航海（1）
			津田　美津彦		渡島半島巡旅
		附録	後藤　豪	23漁	宮崎県漁具図譜（1）
303	1932.04.		杉浦　保吉	9漁	就任挨拶
		報文	山本　祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並に体液に関する研究（8）
			佐々木　武雄 武久　伊作	20漁	東北海区に於ける昭和6年「かつを」漁況に一観察
		資料	鈴木　博	28製	フイッシュミール製造の一班
		抄録	猿谷　九万	28製	油脂の変敗と香味に就て
		論壇	秋元　英男		所謂「講習所新制度」に対する一私見
			藤田　政勝	1養	会誌批判
		論壇	蜷川　虎三	20養	座談会の記事を読んで
		文藻	北岡　康雄訳	29漁	アラビア人のテント（1）
			岡村　欣船		カムチャッカ生活
			大島　信夫	22養	山陰うなぎ食べ歩る記
			光洋丸		潮換歌
302	1932.03.	報文	山本　祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並に体液に関する研究（7）
			森江　信雄		琵琶湖魚苗放流事業の効果並にその方向
		資料	小野　豊樹	26製	魚粉に就て
		抄録	木俣　正夫	32製	SALTED HIDES を赤変する細菌に就て
			眞瀬　恒	28製	魚類並獣肉の急速冷凍法（完）
			浜名　亀助	22養	浮遊生物に依る鰊漁業調査
			千田　謙三	37製	ミクロケルダール窒素定量法に硼酸溶液の使用
		論壇			第1回編輯座談会（速記録）（完）
		海外情報	浜名　亀助	22養	贅沢な「トロール」船
			姉帯　定助	15養	北海通信
		文藻	中津　伊勢夫		みちのく採収行
301	1932.02.	報文	吉田　裕	26養	「うるめいわし」の生活史に就て
			山本　祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並に体液に関する研究（6）
		資料	高橋　直利	30養	金魚の産卵孵化に就て
			斎藤　宗一	32養	白鷹丸北航資料
		抄録	眞瀬　恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法（7）
			酒井　檄	25養	底部の性質より見たる黒海の魚族分布に就て
		講演講話	丸川　久俊	7養	タラバ蟹の話（2）
		論壇	佳山　漁史		会誌改善座談会に列して
					編輯座談会（速記録）（1）
		海外情報	浜名　亀助	22養	1930年に於ける英国水産業の公報
			浜名　亀助	22養	アメリカの水産調査用新船艤装
			浜名　亀助	22養	英国水産調査船チャレンジャー号
			浜名　亀助	22養	諾威の開鰐電気乾燥試験
		文藻	山内　為之輔	特会	郷土史から観た只見川の魚
			T. H. S		調査旅行点描

掲載号	西　暦	カテゴリ	氏　名	卒　回	題　　名
300	1932.01.	巻頭言			迎年の辞
		論叢	木下　佳山		母校に望む
			星野　佐紀	6伝	本邦缶詰及び水産物の海外進展に就て
			古川　武毅	22製	明日に備へよ
			中谷　正雄		我国水産業の地位
		資料	木下　虎一郎	27養	牡蠣剥身器の種々相
			落合　清		小鮎放流事業の農山村に及す影響
			山本　祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並に体液に関する研究（5）
		抄録	眞瀬　恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法（6）
			酒井　檄	25養	土壌の研究
		講演講話	丸川　久俊	7養	タラバ蟹の話
		海外情報	星野　佐紀	6伝	伊太利の缶詰業
			星野　佐紀	6伝	英・独・仏に於ける冷凍鮭の概況
			星野　佐紀	6伝	独逸に於ける缶詰界の状況
		文藻	山ノ内生		牡蠣

美と健康を食卓へ
スクーナー
Schooner
天然甘えび・くじらで明日の活力を引き出そう
安心安全な食材・加工品を提供する
スクーナー株式会社
代表取締役　樋　口　信　行（8製大）
本社：〒104-0054　東京都中央区勝どき2丁目18-1
（黎明スカイレジテル西館3F）
PHONE　03-5546-1246　FAX　03-5546-1250